

愛知県における医療的ケア児関連事業の実施状況

[資料2-1]

1 協議の場の設置状況

令和6年4月現在

県機関名	協議の場の名称	設置年度	実施方法	対象地域	構成員 (人数)	構成団体 (◎：構成員に医療的ケア児等コーディネーターを含む)														
						医師会	看護系団体	福祉事務所	保健所・保健センター	児童相談所	教育委員会	学校	医療機関	訪問看護	社会福祉協議会	当事者団体等	相談支援事業所	障害児通所支援事業所	その他の障害福祉サービス事業所等	その他
尾張福祉相談センター	尾張中部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の尾張中部障害保健福祉圏域会議を活用	尾張中部障害保健福祉圏域	21			○	○						○		○		○	○
市町/地域アドバイザー																				
尾張福祉相談センター	尾張東部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の尾張東部障害保健福祉圏域会議を活用	尾張東部障害保健福祉圏域	17			○	○						○		○		○	○
市町/地域アドバイザー																				
尾張福祉相談センター	尾張西部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の尾張西部障害保健福祉圏域会議を活用	尾張西部障害保健福祉圏域	23			○	○						○		○		○	○
市町/地域アドバイザー																				
尾張福祉相談センター	尾張北部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の尾張北部障害保健福祉圏域会議を活用	尾張北部障害保健福祉圏域	25			○	○						○		○		○	○
市町/地域アドバイザー																				
海部福祉相談センター	海部障害保健福祉圏域会議	平成31年度	既存の海部障害保健福祉圏域会議を活用	海部障害保健福祉圏域	35			○	○						○		○	○	◎	○
市町村、就労生活支援センター、地域アドバイザー、公共職業安定所、																				
知多福祉相談センター	知多障害保健福祉圏域会議 子ども部会	平成30年度	既存の知多障害保健福祉圏域会議に「子ども部会」を新規設置。	知多障害保健福祉圏域 (半田市、高浜市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)	36			◎	○	○							◎	◎		◎
市町/地域アドバイザー																				
西三河福祉相談センター	西三河南部東障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の西三河南部東障害保健福祉圏域会議を活用	西三河南部東障害保健福祉圏域 (岡崎市、幸田町)	19			○	○						○		○	○	○	○
市町 / 地域アドバイザー / 就業・生活支援センター																				
西三河福祉相談センター	西三河南部西障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の西三河南部西障害保健福祉圏域会議を活用	西三河南部西障害保健福祉圏域 (新南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市)	25			○	○						○		○		○	○
市町 / 地域アドバイザー / 就業・生活支援センター																				
豊田加茂福祉相談センター	西三河北部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の西三河北部障害保健福祉圏域会議を活用	西三河北部障害保健福祉圏域 (豊田市、みよし市)	12			○	○								○		○	○
就業・生活支援センター/地域アドバイザー/公共職業安定所																				
新城設楽福祉相談センター	東三河北部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の障害保健福祉圏域会議を活用	東三河北部圏域 (新城市、設楽町、東栄町、豊根村)	21			○	○								○		○	○
市町村、地域アドバイザー																				
東三河福祉相談センター	東三河南部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の東三河南部障害保健福祉圏域会議を活用	東三河南部圏域 (豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市)	23			○	○								○	○	○	○
市/就業・生活支援センター/公共職業安定所/地域アドバイザー																				
愛知県教育委員会 (特別支援教育課)	愛知県特別支援学校 医療的ケア連絡協議会	平成17年度	愛知県内の特別支援学校において実施すべき医療的ケアの内容及び実施・連絡体制並びに緊急時の対応方法等の協議	愛知県	43	○	○													○
愛知県福祉局																				

2 医療的ケア児支援センターのコーディネーター配置状況等（令和6年4月時点）

○ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修の受講有無に関わらず、医療的ケア児等コーディネーターとしての役割を担っている人数等

センター名	現人数	（内訳 人数）		職種
		研修受講あり （予定を含む）	研修受講なし	
あいち医療的ケア児支援センター	1	1	0	看護師
青い鳥医療療育センター	2	2	0	相談員/支援員、看護師
三河青い鳥医療療育センター	5	5	0	相談支援専門員、看護師、その他
信愛医療療育センター	2	2	0	相談支援専門員、看護師
にしおわり医療的ケア児支援センター	4	4	0	相談員/支援員、看護師、その他
だいどう医療的ケア児支援センター	4	3	1	相談員/支援員、看護師、その他
にじいろ医療的ケア児支援センター	3	1	2	相談員/支援員、看護師、その他

3 令和5年度医療的ケア児等アドバイザー事業の活動実績

(1) 事業の内容

○ 困難事例に直面した医療的ケア児支援者からの派遣依頼に基づき、依頼内容や地域を考慮のうえ、適切なアドバイザーを派遣する。

(2) アドバイザー：11 法人（12 名）に委嘱（右記のとおり）

(3) 相談件数：184 件（令和4年度 101 件）

～相談件数の内訳～

- 地域で対応困難な事例に係る助言（33 件）
- 地域のネットワーク構築に向けた調整（64 件）
- 障害保健福祉圏域等、広域的課題解決に向けた体制整備への支援（46 件）
- 地域の社会資源の点検に関する援助（5 件）
- その他（36 件）
 - ・ 愛知県の医療的ケア児支援体制連絡会議
 - ・ 医療的ケア児支援センターとの連携会議
 - ・ 支援者及び行政からの相談に対する情報提供や意見交換 等

愛知県医療的ケア児等アドバイザー担当圏域 MAP（R6.4.1 現在）



4. 愛知県における医療的ケア児関連事業の取組実績及び実施見込み

関係部署	令和5年度 実施状況	令和6年度 実施見込
福祉局 障害福祉課	医療的ケア児等コーディネーター養成研修 [主催]医療療育支援室 [日時]令和5年10月11日～12日【講義】令和5年11月8日～9日【演習】 [場所]中区役所ホール【講義】愛知県自治研修所【演習】 [内容]医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 [修了者]70名(名古屋を除く)/市町村(市町村及び医療的ケア児支援センターから推薦を受けたコーディネーター) [備考]名古屋市と合同で実施	医療的ケア児等コーディネーター養成研修 [主催]医療療育支援室 [日時]9月【4日間】 [場所]調整中 [内容]医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 [参加者]70名程度(市町村から推薦を受けたコーディネーター1～2名) [備考]名古屋市と合同で実施(一般社団法人医療的ケア児等コーディネーター支援協会に委託し実施する。)
	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修 [主催]医療療育支援室 [日時]令和5年12月～令和6年3月までの間で圏域別に計6日開催(1圏域1日間) [場所]圏域の医療的ケア児支援センター又は県の会議室 [内容]医療的ケア児等への支援に関する最新の制度や動向等の時節に応じた講義(1時間)のほか、医療的ケア児支援センターや医療的ケア児等コーディネーターの取組事例の紹介等(3時間)を実施。 [受講者]99名(名古屋を除く) [養成研修修了者または愛知県内の市町村(名古屋を除く)に配置されたコーディネーター]	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修 [主催]医療療育支援室 [日時]調整中 [場所]調整中 [内容]医療的ケア児等への支援に関する最新の制度や動向等の時節に応じた講義のほか、地域の社会資源の点検・創出等に関するワークショップや事例に対する意見交換等を行う。 [受講対象者]愛知県(名古屋を除く)の養成研修を修了した者、養成研修を受講していないがコーディネーターとして愛知県内の市町村(名古屋を除く)に配置されている者
	医療的ケア児等アドバイザーの配置 [主催]医療療育支援室 医療的ケア児等支援に経験豊富な方11法人[12名]を医療的ケア児等アドバイザーとして委託し、医療的ケア児等コーディネーター等の支援者に対して、医療的ケア児等とその家族の個別の状況や地域の実情に応じた助言、支援を行う。 ※資料2-3 令和5年度医療的ケア等アドバイザー事業の活動実績に記載	医療的ケア児等アドバイザーの配置 [主催]医療療育支援室 医療的ケア児等支援に経験豊富な方11法人[12名]を医療的ケア児等アドバイザーとして委託し、医療的ケア児等コーディネーター等の支援者に対して、医療的ケア児等とその家族の個別の状況や地域の実情に応じた助言、支援を行う。
	医療的ケア児支援センターの設置 [主催]医療療育支援室 [内容]医療的ケア児とその家族が居住する地域に関わらず、等しく適切な支援を受けられるよう地域の支援体制を専門的・広域的に支えるため、専門相談や研修、情報発信、関係機関連携を行なう。 [設置場所]医療療育総合センター、青い鳥医療療育センター、三河青い鳥医療療育センター、一宮医療療育センター、信愛医療療育センター、重心施設にじいのいえ、大同病院	医療的ケア児支援センターの設置 [主催]医療療育支援室 [内容]医療的ケア児とその家族が居住する地域に関わらず、等しく適切な支援を受けられるよう地域の支援体制を専門的・広域的に支えるため、専門相談や研修、情報発信、関係機関連携を行なう。 [設置場所]医療療育総合センター、青い鳥医療療育センター、三河青い鳥医療療育センター、一宮医療療育センター、信愛医療療育センター、重心施設にじいのいえ、大同病院
	喀痰吸引等特定行為事業者の登録事務 [主催]障害福祉課 [内容]一定の研修を修了した介護職員等は喀痰吸引等特定行為事業者として登録を受けた事業者において、喀痰吸引等の行為を実施できる。 [登録事業所数(障害者総合支援法)] 令和5年4月1日現在 439件 ※介護保険法における登録は除く。	喀痰吸引等特定行為事業者の登録事務 [主催]障害福祉課 [内容]一定の研修を修了した介護職員等は喀痰吸引等特定行為事業者として登録を受けた事業者において、喀痰吸引等の行為を実施できる。 [登録事業所数(障害者総合支援法)] 令和6年4月1日現在 477件 ※介護保険法における登録は除く。
	福祉局 医療療育総合センター	障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) [共催]名古屋大学障害児[者]寄附講座 ■第9回 東海三県小児在宅医療研究会 [日時]令和6年2月25日[日]13時～17時 [場所]ウインクあいち [テーマ]医療的ケア児支援センター開設後の医療的ケア児とその家族への支援 [演題/講師] 基調講演「子どもと家族が描く医療的ケア児支援センターの未来予想図」/みえキッズ&ファミリーホームケアクリニック[院長] 愛知県 「にしおわり医療的ケア児支援センターの地域支援センターとしての取組み」 /にしおわり医療的ケア児支援センター[センター長] 岐阜県 「医療的ケア児支援センター/重症心身障がい在宅支援センターみらいの活動」 /重症心身障がい在宅支援センターみらい[家族支援専門看護師] 三重県 「個人の困りごとを社会の課題にするために」/三重病院[相談支援専門員] [参加者]373人
■重症心身障害児者医療療育講演会 [日時]令和5年7月8日[土]13時30分～15時 [場所]ウインクあいち [演題/講師]「あいち小児保健医療総合センターにおける退院・在宅移行支援の取組み～地域との連携を目指して～」 /あいち小児保健医療総合センター[医師] [参加者]39人		■重症心身障害児者医療療育推進講演会 [日時]令和6年7月6日[土]13時30分～15時 [場所]ウインクあいち [内容]講演 [演題/講師]「重症心身障害療育におけるF-wordsの考え方と実践～機能、家族、健康、楽しみ、友だち、そして未来～」 /四天王寺和らぎ苑(理学療法士) [募集人数]80人

関係部署	令和5年度 実施状況	令和6年度 実施見込
福祉局 医療療育総合センター	<p>■重症心身障害児者関係施設等支援者研修「食べるコース」 [日時]令和5年9月23日[土]10時～15時10分 [場所]愛知県医療療育総合センター [内容]講演、実習、試食 [演題/講師] ①「嚥下障害診療のキホン」/愛知県医療療育総合センター[医師] ②「私たち、こんな感じで食べてます」/愛知県医療療育総合センター[摂食嚥下障害認定看護師] ③「やさしい食事を考える」/愛知県医療療育総合センター[栄養管理士] ④「なにはなくとも口腔ケア!」/愛知県医療療育総合センター[歯科衛生士]</p>	<p>■重症心身障害児者関係施設等支援者研修「食べるコース」 [日時]令和6年9月21日[土]10時～15時10分 [場所]愛知県医療療育総合センター [内容]講演、実習、試食 [演題/講師] 「未定」/愛知県医療療育総合センター [募集人数]40人</p>
	<p>■重症心身障害児者・医療的ケア児の呼吸ケア研修 [日時]令和5年11月26日[日]10時～15時30分 [場所]愛知県医療療育総合センター [内容]講演、実習 [演題/講師] ①「呼吸障害の病態と内科的管理法～長期的視点と医療機器の役割～」/愛知県医療療育総合センター[医師] ②「生活の質をあげる呼吸理学療法～本人・介助者が共に楽になる支援方法のヒント～」/愛知県医療療育総合センター[理学療法士] ③「呼吸障害に対する外科治療～気管切開術・喉頭気管分離術とその注意点～」/愛知県医療療育総合センター[医師] ④呼吸の原点としての口腔管理と口腔ケア～口腔病態と口腔ケアのポイント～」/愛知県医療療育総合センター[医師] [実習] A:医療機器実習[人工呼吸器、排痰補助装置、基幹カニューレ、口腔ケア] B:リハビリテーション実習[ポジショニング体験、呼吸介助法]</p>	<p>■重症心身障害児者・医療的ケア児の呼吸ケア研修 [日時]令和6年11月17日[日]10時～15時30分 [場所]愛知県医療療育総合センター [内容]講演、実習 [演題/講師] 「未定」/愛知県医療療育総合センター [募集人数]40人</p>
	<p>■重症心身障害児者看護実践研修 [日時]令和5年9月21日[木]9時～15時 令和5年11月2日[木]9時～15時 令和5年12月21日[木]9時～15時 [場所]愛知県医療療育総合センター [内容]病棟実習・講義 [演題/講師]「呼吸障害を起こす理由と看護ケアのポイント」/愛知県医療療育総合センター[医師] [実習]病棟実習[呼吸・排痰介助、経管栄養、口腔ケア、人工呼吸器の取扱い、排痰補助装置の説明及び使用場面の見学、気管カニューレ、胃ろう管理などの見学]</p>	<p>■重症心身障害児者看護実践研修 (日時)令和6年9月25日(水)9時～12時30分 令和6年10月31日(木)9時～15時 (場所)愛知県医療療育総合センター (内容)病棟実習・講義 (演題/講師)「呼吸障害を起こす理由と看護ケアのポイント」/愛知県医療療育総合センター(医師) (実習)病棟実習[呼吸・排痰介助、経管栄養、口腔ケア、人工呼吸器の取扱い、排痰補助装置の説明及び使用場面の見学、気管カニューレ、胃ろう管理などの見学]</p>
福祉局 子育て支援課	<p>医療的ケア児保育支援事業 医療的ケア児の受入れを行う保育所等に、医療機関との連携の下、看護師等を配置し、医療的ケアを実施する場合に要する経費を補助する。 【実施主体】市町村[政令・中核市を除く] 【対象市】春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、西尾市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、尾張旭市、岩倉市、田原市、東郷町、阿久比町 [18市町26か所] 【補助率】国1/2、県1/4、[市町村]1/4 [※]国2/3、県1/6、[市町村]1/6 [※]補助率の嵩上げ条件 3年後の医療的ケア児の保育所等の利用を希望する人数[見込み]に対して、医療的ケア児の受入人数[見込み]が上回る整備計画書を策定する場合。 【補助基準額】 [1か所あたり] 看護師等の配置 5,290千円 / 補助者の配置 2,232千円 / 研修の受講支援 300千円 [1市町村あたり] 医療的ケア児保育支援者配置加算 2,232千円 / ガイドライン策定加算 577千円 / 検討会等設置加算 360千円</p>	<p>医療的ケア児保育支援事業 医療的ケア児の受入れを行う保育所等に、医療機関との連携の下、看護師等を配置し、医療的ケアを実施する場合に要する経費を補助する。 【実施主体】市町村[政令・中核市を除く] 【対象市】瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知立市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、清須市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、大治町、阿久比町、東浦町、武豊町 [34市町52か所] 【補助率】国1/2、県1/4、[市町村]1/4 [※]国2/3、県1/6、[市町村]1/6 [※]補助率の嵩上げ条件 3年後の医療的ケア児の保育所等の利用を希望する人数[見込み]に対して、医療的ケア児の受入人数[見込み]が上回る整備計画書を策定する場合。 【補助基準額】 [1か所あたり] 看護師等の配置 5,290千円 / 補助者の配置 2,232千円 / 研修の受講支援 300千円 [1市町村あたり] 医療的ケア児保育支援者配置加算 2,232千円 / ガイドライン策定加算 577千円 / 検討会等設置加算 360千円</p>
保健医療局 医療課	<p>小児在宅医療普及推進事業[医療介護総合確保基金事業] [主催][公社]愛知県医師会[委託] ①【小児在宅医療推進企画委員会】 【開催回数】年3回[5月、9月及び2月] 【場所】愛知県医師会館[Web併用] 【内容】県内全域の小児在宅医療提供体制を整備するため、地域の小児在宅医療の代表者等により、研修内容の策定・評価等を実施。 [主な検討事例] 研修内容の策定・評価 【構成員】11名[内訳:愛知県医師会担当理事等]</p> <p>②【小児在宅医療に従事する医師向け研修】 [日時]令和5年10月9日[月・祝] 午前10時30分から午後4時まで 【場所】ウインクあいち10階1001・1002会議室[名古屋市中村区名駅4丁目4-38] 【内容】診療所の医師等を対象に、人工呼吸器や経管栄養等の医療的ケアを必要とする児の処置等に関する研修の開催 【参加者】66名[医師、看護師、リハビリ職種等]</p>	<p>小児在宅医療普及推進事業[医療介護総合確保基金事業] [主催][公社]愛知県医師会[委託] ①【小児在宅医療推進企画委員会】 【開催回数】年3回[時期未定] 【場所】愛知県医師会館[Web併用] 【内容】県内全域の小児在宅医療提供体制を整備するため、地域の小児在宅医療の代表者等により、研修内容の策定・評価等を実施。 [主な検討事例] 研修内容の策定・評価 【構成員】11名[内訳:愛知県医師会担当理事等]</p> <p>②【小児在宅医療に従事する医師向け研修】 [日時]令和6年10月頃[予定] 【場所】名古屋サンスカイルーム[予定] 【内容】診療所の医師等を対象に、人工呼吸器や経管栄養等の医療的ケアを必要とする児の処置等に関する研修の開催 【参加者】定員未定[医師、看護師、リハビリ職種等]</p>

関係部署	令和5年度 実施状況	令和6年度 実施見込
保健医療局 医務課	<p>③【小児医療従事者ネットワーク構築研修】 〔1〕尾張東部小児在宅医療講習会 〔日時〕令和5年12月16日〔土〕午後2時から午後6時まで 〔場所〕公立厚生病院 北棟5階 第1会議室 〔内容〕地域における医療的ケア児等の支援方法を学ぶ研修の開催 〔参加者〕56名〔医師、看護師、リハビリ職種等〕</p>	<p>③【小児医療従事者ネットワーク構築研修】 〔1〕尾張西部小児在宅医療講習会 〔日時〕未定 〔場所〕未定 〔内容〕地域における医療的ケア児等の支援方法を学ぶ研修の開催 〔参加者〕定員未定〔医師、看護師、リハビリ職種等〕</p>
	<p>〔2〕名古屋小児在宅医療講習会 〔日時〕令和6年2月10日〔土〕午後2時から午後6時まで 〔場所〕名古屋市医師会館 6階講堂 〔内容〕地域における医療的ケア児等の支援方法を学ぶ研修の開催 〔参加者〕84名〔医師、看護師、リハビリ職種等〕</p>	<p>〔2〕知多半島小児在宅医療講習会 〔日時〕未定 〔場所〕未定 〔内容〕地域における医療的ケア児等の支援方法を学ぶ研修の開催 〔参加者〕定員未定〔医師、看護師、リハビリ職種等〕</p>
	<p>〔3〕小児在宅医療研修会・もーやっこジュニアの広場 〔日時〕令和5年10月21日〔土〕午後1時30分から 〔場所〕公立陶生病院 敷内薬局2階 多目的室、北棟5階 第1会議室 〔内容〕医師、看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、小児在宅ケアにおける地域連携に係る研修会を開催するとともに、医療的ケア児及び保護者も参加し、保護者同士のネットワーク構築を目的とした交流の場も提供。 〔参加者〕174名〔医師、看護師、リハビリ職種、医療的ケア児家族、学生等〕</p>	<p>〔3〕小児在宅医療研修会・もーやっこジュニアの広場 〔日時〕未定 〔場所〕未定 〔内容〕医師、看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、小児在宅ケアにおける地域連携に係る研修会を開催するとともに、医療的ケア児及び保護者も参加し、保護者同士のネットワーク構築を目的とした交流の場も提供。 〔参加者〕定員未定〔医師、看護師、リハビリ職種、医療的ケア児家族、学生等〕</p>
保健医療局 健康対策課	<p>小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 【愛知県小児慢性特定疾病児童等地域支援協議会】 〔主催〕健康対策課 〔日時〕令和5年8月31日〔木〕 〔場所〕自治センター 〔内容〕 〔1〕愛知県における小児慢性特定疾病医療給付等の状況について 〔2〕令和4年度小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の実施状況について 〔3〕小児慢性特定疾病児童とその家族の支援ニーズの実態把握について 〔構成員〕医療機関、患者・家族会、市町村〔保健部門・福祉部門〕、教育機関、保健所等</p>	<p>小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 【難病及び愛知県小児慢性特定疾病児童等地域支援協議会】 難病及び小児慢性特定疾病児童等及びその家族が安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的に開催する。</p>
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】瀬戸保健所 〔日時〕令和5年7月20日〔木〕 〔場所〕瀬戸保健所 〔内容〕 〔1〕情報提供 管内の小児慢性特定疾病医療給付申請及び医療的ケアが必要な児の状況について、保健所の事業内容について 〔2〕講話 「医療的ケア児が地域で安心して暮らすために」 講師 あいち医療的ケア児支援センター 松尾由紀氏 〔構成員〕あいち医療的ケア児支援センター、市町母子担当課、市町児童福祉担当課、市町学校教育課 〔日時〕令和6年3月6日〔水〕 〔内容〕 〔1〕報告 長久手市「医療的ケア児等の災害対策プロジェクトチーム」の活動 〔2〕報告 石川県七尾市での被災地支援活動 〔3〕講演 「災害時保健活動を効果的に展開するうえでの留意点」 講師 愛知医科大学看護学部在宅看護学 准教授 佐々木裕子氏 〔構成員〕愛知医科大学、市町母子保健担当課、市町防災担当課、市町福祉担当課</p>	<p>【関係機関等連携会議】〔各保健所主催〕 小児慢性特定疾病児童等及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携して支援する体制を確立することを目的に開催する。 【小児慢性特定疾病児童等の生活に関するアンケート調査】〔各保健所主催〕 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業における、相談支援事業の充実及び地域に必要な努力義務事業の検討にあたり、令和6年度小児慢性特定疾病医療費助成の継続申請者の生活状況について把握する。</p>
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】春日井保健所 〔日時〕令和5年4月27日〔木〕 〔場所〕春日井保健所 〔内容〕 〔1〕意見交換 医療的ケア児の支援機関との情報共有及び今後の連携 〔構成員〕愛知県医療的ケア児等アドバイザー〔尾張北部圏域〕、保健所職員 〔日時〕令和5年8月17日〔木〕 〔内容〕 〔1〕報告 保健所における小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の取組状況について 〔2〕情報提供 各機関における疾病により配慮のいる児童等への関わりについて 〔構成員〕助言者〔中部大学〕、医療的ケア児コーディネーター、市障がい福祉課、子ども家庭支援課、保育課、学校教育課、県健康対策課、児童相談センター、保健所職員 〔日時〕令和5年9月13日〔水〕 〔内容〕 〔1〕報告 保健所における小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の取組状況について 〔2〕情報提供 各機関における疾病により配慮のいる児童等への関わりについて 〔構成員〕助言者〔中部大学〕、医療的ケア児コーディネーター、市保健センター、障がい福祉課、子育て世代包括支援センター、幼児教育・保育課、学校教育課、県健康対策課、児童相談センター、保健所職員</p>	

関係部署	令和5年度 実施状況	令和6年度 実施見込
保健医療局 健康対策課	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】江南保健所 【日時】令和5年10月31日【火】 【場所】江南保健所 【内容】 【1】意見交換 小児慢性特定疾病児童等への各機関の取り組み 【構成員】医療的ケア児支援センター</p> <p>【日時】令和5年12月11日【月】 【内容】 【1】報告 小児慢性特定疾病児童の状況及び保健所の取り組みについて 【1】意見交換 医療依存度の高い方々の災害時情報整理シート作成事例について報告、地域の課題の検討 【構成員】医師会、歯科医師会、薬剤師会、医師会地域ケア協力センター、医師会在宅医療・介護サポートセンター、訪問看護ステーション連絡会、医療ソーシャルワーカー連絡会、ケアマネジャー連絡会、患者家族会、医療的ケア児支援センター、市町【福祉課・母子保健担当・医療的ケア児等コーディネーター】</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】清須保健所 【日時】令和5年7月10日【月】 【場所】清須保健所 【内容】 【1】報告 小児慢性特定疾病児童等の状況について、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について、アンケート調査結果について 【2】意見交換 ガイドブック作成について 【構成員】医師会、訪問看護ステーション連絡会、通所事業所【放デイ】、相談支援事業所、児童・障害者センター、患者家族会代表、関係行政機関の職員【母子保健・保育・障害福祉・学校教育課】、圏域地域アドバイザー</p> <p>【日時】令和5年11月17日【金】 【内容】 【1】報告 小児慢性特定疾病児童等への支援、ガイドブック【案】について説明について 【2】意見交換 ガイドブック【案】について 【構成員】医師会、訪問看護ステーション連絡会、通所事業所【放デイ】、相談支援事業所、児童・障害者センター、患者家族会代表、関係行政機関の職員【母子保健・保育・障害福祉・学校教育課】、圏域地域アドバイザー</p>	<p>【関係機関等連携会議】【各保健所主催】 小児慢性特定疾病児童等及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携して支援する体制を確立することを目的に開催する。</p>
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】津島保健所 【日時】令和6年1月24日【水】 【場所】津島保健所 【内容】 【1】報告 小児慢性特定疾病児童等の状況及び保健所の取組みについて 【2】意見交換 医療的ケア児に対する支援体制について 【構成員】青い鳥医療的ケア児支援センター、保健所</p> <p>【日時】令和6年2月27日【水】 【内容】 【1】報告 指定難病特定医療費受給者の状況及び保健所の難病患者地域ケア推進事業について、小児慢性特定疾病医療費受給者の状況及び保健所の小児慢性特定疾病児童等自立支援事業【相談支援事業】について 【2】意見交換 避難行動要支援者支援の取組について【災害時要支援者支援の取組状況について、管内市町村における避難行動要支援者支援の取組状況について、訪問看護ステーションにおける災害時対策について【令和4年度調査結果】】 【構成員】愛知教育大学健康支援センター、市医師会、医療圏在宅医療・介護連携支援センター、医療圏訪問看護ステーション連絡協議会、医療圏居宅介護支援事業者連絡会、青い鳥医療的ケア児支援センター、管内7市町村【市：危機管理課、健康推進課、市：社会福祉課、健康推進課、市：福祉課、健康推進課、市：社会福祉課、町：民生課、保健センター、町：住民課、村：福祉課】</p>	<p>【小児慢性特定疾病児童等の生活に関するアンケート調査】【各保健所主催】 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業における、相談支援事業の充実及び地域に必要な努力義務事業の検討にあたり、令和6年度小児慢性特定疾病医療費助成の継続申請者の生活状況について把握する。</p>
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】半田保健所 【日時】令和6年2月20日【火】 【場所】半田保健所 【内容】 【1】報告 小児慢性特定疾病児童等の現状について、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について、令和4年度小児慢性特定疾病医療費支給認定申請時アンケート及び面接時記録の分析について 【2】意見交換 小児慢性特定疾病児童等及びその家族の自立支援促進 【構成員】患者・家族団体【難病のこども支援東海ネットワーク、つぼみの会 愛知・岐阜】、名古屋大学医学部附属病院【チャイルド・ライフスペシャリスト】、訪問看護ステーション、管内障害者相談支援センター、管内各市町 保健・子育て・福祉・教育関係者、あいち小児保健医療総合センター、小児慢性特定疾病児童等自立支援員、保健所</p>	

関係部署	令和5年度 実施状況	令和6年度 実施見込
保健医療局 健康対策課	<p>【事例検討会】 【主催】西尾保健所 【日時】令和5年10月12日〔木〕、10月18日〔水〕、11月1日〔水〕、11月9日〔木〕 【場所】西尾保健所 【内容】 〔1〕災害時個別支援計画作成に向けた検討 〔2〕災害時避難に関する会議及び避難訓練等 【構成員】本人、両親、町内会、主治医、病院MSW、訪問看護ステーション、相談支援事業所、福祉用具貸与事業所、市福祉関係課、医療的ケア児コーディネーター等</p> <p>【関係機関等連携会議】 【主催】西尾保健所 【日時】令和5年12月4日〔月〕 【内容】 〔1〕報告 管内の小児慢性特定疾病児童等の現状と保健所の取組について 〔2〕意見交換 小児慢性特定疾病児童等〔医療的ケア児等〕への支援について現状と課題 【構成員】病院MSW、相談支援事業所、社会福祉協議会、特別支援学校、市町保健福祉関係課、市町教育委員会</p>	
	<p>【事例検討会】 【主催】知多保健所 【日時】令和5年9月29日（金） 【場所】知多保健所 【内容】 人工呼吸器装着児の概要について、想定される市の被災状況について、災害時における在宅医療機器の電源確保について、災害時支援情報について 【構成員】父母、医療法人 医療機器システム開発事業部長（工学博士）、訪問看護事業所、医療機器事業所、相談支援専門員、市防災危機管理課（防災担当）、市福祉課（災害時個別避難計画策定担当）、市健康推進課（母子保健担当者）、保健所</p> <p>【関係機関等連携会議】 【主催】知多保健所 【日時】令和6年1月24日（水） 【場所】知多保健所 【内容】 〔1〕報告 管内の小児慢性特定疾病児童等の状況について、保健所における小児慢性特定疾病児童等の支援について 〔2〕講話 地域における小児慢性特定疾病児童及び医療的ケア児の災害対策について 講師 にじいろ医療的ケア児支援センターセンター長 水野美穂子氏 【構成員】その他出席者：訪問看護事業所、障害者相談支援事業所、市（防災担当・日常生活用具担当・母子保健担当）、あいち小児保健医療総合センター 保健室、福祉相談センター地域福祉課、保健所</p>	<p>【関係機関等連携会議】〔各保健所主催〕 小児慢性特定疾病児童等及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携して支援する体制を確立することを目的に開催する。</p> <p>【小児慢性特定疾病児童等の生活に関するアンケート調査】〔各保健所主催〕 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業における、相談支援事業の充実及び地域に必要な努力義務事業の検討にあたり、令和6年度小児慢性特定疾病医療費助成の継続申請者の生活状況について把握する。</p>
	<p>【事例検討会】 【主催】衣浦東部保健所 【日時】令和5年7月25日〔火〕、9月19日〔火〕、9月28日〔木〕、令和6年1月19日〔金〕、3月26日〔火〕、 【場所】衣浦東部保健所 【内容】 災害時個別支援計画作成に向けて〔療養状況について、災害時の課題について、在宅人工呼吸器使用者のための災害時個別支援計画〔案〕について〕 【構成員】家族、本人、医師、MSW、往診医療機関、訪問看護ステーション、医療機器メーカー、相談支援事業所、市保健・障害福祉・防災主管課、保健所保健師</p> <p>【関係機関等連携会議】 【主催】衣浦東部保健所 【日時】令和6年2月29日〔木〕 【内容】 〔1〕報告 管内における小児慢性特定疾病児及び医療的ケア児等の状況について、保健所における小児慢性特定疾病児及び医療的ケア児等の支援について 〔2〕意見交換 各機関における医療的ケア児等への災害時支援の取組について 【構成員】医療機関、医療的ケア児支援センター、障害者支援センター、児童発達支援事業所、訪問看護ステーション、市役所職員 【保健部門・児童福祉部門・障害福祉部門・防災部門、健康対策課、保健所保健師</p>	
<p>【事例検討会】 【主催】新城保健所 【日時】令和5年9月26日〔火〕 【場所】新城保健所 【内容】医療的ケア児の今後の就学に向けて話し合い 【構成員】本児、父母、相談支援専門員、訪問看護ステーションみらい、特別支援学校小学部</p> <p>【関係機関等連携会議】 【主催】新城保健所 【日時】令和6年3月8日〔金〕 【内容】 〔1〕報告 小児慢性特定疾病児童等の状況について、保健所における小児慢性特定疾病児童等への対策について 〔2〕意見交換 小児慢性特定疾病患者の災害時対応について 【構成員】市民病院〔医師、MSW〕、診療所在宅医療介護サポートセンター、医療的ケア児支援センター、訪問看護ステーション、相談支援事業所、基幹相談支援センター、市役所〔福祉課、健康課〕</p>		

関係部署	令和5年度 実施状況	令和6年度 実施見込
保健医療局 健康対策課	<p>【関係機関連携会議】 【主催】豊川保健所 [日時]令和6年2月28日[水] [場所]豊川保健所 [内容] [1] 報告 管内の小児慢性特定疾病児童の状況と保健所の取組 [2] 情報提供 小児慢性特定疾病児の就園・就学に向けて [3] 意見交換 [構成員] 保護者、難病のこども支援東海ネットワーク、豊橋あゆみ学園、医療的ケア児支援センター、管内市福祉担当課・保育担当課・母子保健担当課、市障がい者相談支援センター、管内市児童発達相談センター、市学校教育課、田原市学校教育課、教育事務所、特別支援学校</p> <p>【小児慢性特定疾病児童等自立支援事業研修会】 【主催】豊川保健所 [日時]令和5年11月8日[水] [内容] コミュニケーション支援機器[意思伝達装置等]の特徴と操作方法 [構成員] 管内各市の保健師、看護師、介護支援専門員、相談支援専門員、医療的ケアコーディネーター、福祉課職員、リハビリテーション専門職[理学療法士、作業療法士、言語聴覚士]、福祉用具専門相談員等</p> <p>【事例検討会】 【主催】豊川保健所 [日時]令和5年11月7日[火]、11月9日[木]、令和6年1月31日[水]、3月27日[水] [内容] [1] 学校生活、必要な支援体制について [2] 災害時個別支援計画について [3] 本人に応じた口腔ケア 等 [構成員] 本児、母親、訪問診療医師、理学療法士、相談支援専門員、中学校特別支援担任、学校看護師、日本障害者歯科学会認定衛生士・指導歯科衛生士、保健所[保健師・歯科衛生士・栄養士]等</p>	<p>【関係機関等連携会議】[各保健所主催] 小児慢性特定疾病児童等及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携して支援する体制を確立することを目的に開催する。</p> <p>【小児慢性特定疾病児童等の生活に関するアンケート調査】[各保健所主催] 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業における、相談支援事業の充実及び地域に必要な努力義務事業の検討にあたり、令和6年度小児慢性特定疾病医療費助成の継続申請者の生活状況について把握する。</p>
保健医療局 医薬安全課	<p>薬剤師在宅医療対応研修 薬剤師として在宅医療に必要な知識及びノウハウを取得するための研修会を開催する。[愛知県薬剤師会委託] ・医療専門職がそれぞれの専門分野を生かして連携し、質の高い医療を実施するため、在宅医療に必要な知識や能力を取得する研修を実施 【多職種連携力向上研修:2回】 ・医薬品の影響を加味した上で栄養状態改善の提案をできる能力を取得するための研修を実施 【栄養評価研修:1回】 ・チーム医療の一員として積極的な薬剤選択の提案を行うことができるよう、フィジカルアセスメント能力の向上を図るための研修を実施 【フィジカルアセスメント研修:2回】</p>	<p>薬剤師在宅医療対応研修</p> <p>【多職種連携力向上研修:2回】 【栄養評価研修:1回】 【小児薬物療法研修:1回】 【医療用麻薬適正使用研修:1回】</p>
県民文化局 学事振興課 私学振興室	<p>私立幼稚園特別支援教育費補助金 [目的] 障害児を就園させている私立幼稚園の経常的経費に対して補助し、特別支援教育の充実を図る。 [補助額] 学校法人 障害児1人当たり: 784,000円 非学校法人 " : 274,400円 [障害の種類] 視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、情緒障害・発達障害 [医療的ケア児に限らない] [令和5年度対象人数] 1,766人</p>	<p>私立幼稚園特別支援教育費補助金 [目的] 障害児を就園させている私立幼稚園の経常的経費に対して補助し、特別支援教育の充実を図る。 [補助額] 学校法人 障害児1人当たり: 784,000円 非学校法人 " : 274,400円 [障害の種類] 視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、情緒障害 [医療的ケア児に限らない] [令和6年度対象人数[予定]] 1,589人</p> <p>【新規】愛知県私立幼稚園医療的ケア看護職員配置事業費補助金 [目的] 医療的ケア児が在園する私立幼稚園の看護職員等の配置に要する経費に対して補助し、幼稚園における医療的ケア児の受入環境整備を促進する。 [補助率] 医療的ケア看護職員等の配置に要する経費の1/3</p>

関係部署	令和5年度 実施状況	令和6年度 実施見込
教育委員会 特別支援教育課	医療的ケア事業【医療的ケア連絡協議会】	医療的ケア事業【医療的ケア連絡協議会】
	<p>【愛知県特別支援学校における医療的ケア連絡協議会】 【開催回数】年3回〔6/28、10/16、2/1〕 【場所】東大手庁舎 研修室A 等 【内容】愛知県特別支援学校において実施すべき医療的ケアの内容及び実施・連絡体制並びに緊急時の対応方法等の協議 【主な協議事例】…愛知県の学校における医療的ケアに係る今後の在り方、各校からの審議事項 等 【構成員】43名〔内訳：医療的ケア実施校〔校長〕、医療的ケア指導医、愛知県医師会〔学校保健部会代表〕、看護師に関する団体等の職員代表 等〕</p>	<p>【愛知県特別支援学校における医療的ケア連絡協議会】 【開催回数】年3回予定〔6/25、10/2、2/5〕 【場所】東大手庁舎 研修室A 等 【内容】愛知県特別支援学校において実施すべき医療的ケアの内容及び実施・連絡体制並びに緊急時の対応方法等の協議 【主な協議事例】…愛知県の学校における医療的ケアに係る今後の在り方、各校からの審議事項 等 【構成員】43名〔内訳：医療的ケア実施校〔校長〕、医療的ケア指導医、愛知県医師会〔学校保健部会代表〕、看護師に関する団体等の職員代表 等〕</p>
	医療的ケア事業【指導医の派遣】	医療的ケア事業【指導医の派遣】
	<p>【愛知県立特別支援学校への指導医の派遣】 【回数】年3回〔時期：各県立特別支援学校で設定〕 【場所】各県立特別支援学校 【内容】県立特別支援学校において実施される医療的ケアを、安全かつ円滑に実施するため、小児科医等を学校に派遣し、医療的ケアに関する指導・助言、教職員及び看護師への医療的ケアの基礎知識に関する研修等を実施する。 【主な協議事例】医療的ケアに関する事例検討等 【構成員】12名〔医療的ケア実施校11校に各1名、2校兼ねる医師1名〕</p>	<p>【愛知県立特別支援学校への指導医の派遣】 【回数】年3回〔時期：各県立特別支援学校で設定〕 【場所】各県立特別支援学校 【内容】県立特別支援学校において実施される医療的ケアを、安全かつ円滑に実施するため、小児科医等を学校に派遣し、医療的ケアに関する指導・助言、教職員及び看護師への医療的ケアの基礎知識に関する研修等を実施する。 【主な協議事例】医療的ケアに関する事例検討等 【構成員】12名〔医療的ケア実施校12校に各1名、2校兼ねる医師2名〕</p>
	医療的ケア事業【医療的ケアに係る研修】	医療的ケア事業【医療的ケアに係る研修】
<p>【開催回数】年1回〔8/4〕【場所】自治センター会議室E 【内容】愛知県立特別支援学校において、校内で調整的な役割を果たす教員、養護教諭及び看護師を対象に医療的ケアの知識と技術の理解を目的とした研修を行う。 【学校看護師研修会】 【開催回数】年1回〔8/4〕【場所】自治センター会議室E 【内容】最新医療や看護技術、医療機器等に関する知識や技能を得るための研修。</p>	<p>【医療的ケア研修会】 【開催回数】年1回〔8/6〕【場所】自治センター会議室E 【内容】愛知県立特別支援学校において、校内で調整的な役割を果たす教員、養護教諭及び看護師を対象に医療的ケアの知識と技術の理解を目的とした研修を行う。 【学校看護師研修会】 【開催回数】年1回〔8/1〕【場所】自治センター会議室E 【内容】最新医療や看護技術、医療機器等に関する知識や技能を得るための研修。 【指導的立場にある看護師研修会】 【開催回数】年1回〔未定〕【場所】文部科学省 【内容】文部科学省主催の指導的立場にある看護師研修会への派遣。</p>	
医療的ケア事業【医療的ケアガイドライン検討委員会の開催】	医療的ケア事業【医療的ケアガイドライン検討委員会の開催】	
<p>【医療的ケアガイドライン検討委員会の開催】 【開催回数】年1回〔2/8〕 【場所】東大手庁舎会議室 【内容】教員・医師・看護師頭が連携し、安全に医療的ケアを実施するための手がかり、また本人・保護者にとって安心して医療的ケアを実施できるよう、学校の体制や実施条の配慮事項等を整理した医療的ケアガイドラインの作成 【構成員】12名〔内訳：指導医、医療的ケアを実施する特別支援学校の長、看護師代表等〕</p>	<p>【医療的ケアガイドライン検討委員会の開催】 【開催回数】年2回 予定：〔8/28、12/25〕 【場所】自治センター会議室 【内容】教員・医師・看護師頭が連携し、安全に医療的ケアを実施するための手がかり、また本人・保護者にとって安心して医療的ケアを実施できるよう、学校の体制や実施条の配慮事項等を整理した医療的ケアガイドラインの作成 【構成員】10名程度〔内訳：指導医、医療的ケアを実施する特別支援学校の長、看護師代表等〕</p>	
	【新規】主任看護師活動経費 【主任看護師の配置】 医療的ケアに関する業務を包括的に支援し、その業務遂行及び調整を図る主任看護師を配置し、医療的ケアを実施する学校からの相談や関係者への支援・連絡調整を行う体制及び支援の強化を図る。 【業務内容】 ・医療的ケアに関する相談への支援や助言 ・医療的ケア関連業務の遂行 【拠点校】名古屋特別支援学校	
医療的ケア事業【通学支援モデル事業】	医療的ケア事業【通学支援モデル事業】	
<p>【通学支援モデル事業の実施】 【内容】県立特別支援学校において、通学の途中に医療的ケアを行うことにより、スクールバス乗車ができず、保護者による送迎が必要な児童生徒に対し、本人は健康でも保護者の都合により送迎が困難な場合に学習機会を保障するとともに、あわせて保護者の送迎の負担軽減を図る。 【モデル校】名古屋特別支援学校 【対象者数及び支援回数】35人×12日 【その他】 ・通学途中に必要な看護師の派遣委託→本事業で支援〔県と事業者が契約〕 ・通学支援に必要な介護タクシー等福祉車両利用→就学奨励費で補助〔保護者と事業者が契約〕</p>	<p>【通学支援モデル事業の実施】 【内容】県立特別支援学校において、通学の途中に医療的ケアを行うことにより、スクールバス乗車ができず、保護者による送迎が必要な児童生徒に対し、本人は健康でも保護者の都合により送迎が困難な場合に学習機会を保障するとともに、あわせて保護者の送迎の負担軽減を図る。 【モデル校】名古屋特別支援学校 【対象者数及び支援回数】35人×12日 【その他】 ・通学途中に必要な看護師の派遣委託→本事業で支援〔県と事業者が契約〕 ・通学支援に必要な介護タクシー等福祉車両利用→就学奨励費で補助〔保護者と事業者が契約〕</p>	
医療的ケア事業【校外学習付き添いモデル事業】	医療的ケア事業【校外学習付き添いモデル事業】	
<p>【校外学習付き添いモデル事業の実施】 【内容】県立特別支援学校において、医師の指示により看護師の付き添いがあれば保護者の付き添いなく参加が可能となる児童生徒の校外学習の実施にあたり、看護師の付添体制の構築を図る。 【モデル校】ひいらぎ特別支援学校 【対象者数及び支援回数】 ・日帰り校外学習：20人〔各1回〕 ・宿泊行事：5人〔各1回〕</p>	<p>【校外学習付き添いモデル事業の実施】 【内容】県立特別支援学校において、医師の指示により看護師の付き添いがあれば保護者の付き添いなく参加が可能となる児童生徒の校外学習の実施にあたり、看護師の付添体制の構築を図る。 【モデル校】ひいらぎ特別支援学校 【対象者数及び支援回数】 ・日帰り校外学習：74人〔各1回〕 ・宿泊行事：9人〔各1回〕</p>	

関係部署	令和5年度 実施状況	令和6年度 実施見込
教育委員会 特別支援教育課	モデル事業検討委員会 【モデル事業の検討委員会の実施】 【内容】通学支援モデル事業及び校外学習付添モデル事業の検討委員会をそれぞれ設置し、県内全域での実施に向けた検証を行う。 【実施回数】年2回〔通学支援モデル事業1回、校外学習付添モデル事業1回〕 【委員】医師、看護師、事業所職員、関係学校長 等	モデル事業検討委員会 【モデル事業の検討委員会の実施】 【内容】通学支援モデル事業及び校外学習付添モデル事業の検討委員会をそれぞれ設置し、県内全域での実施に向けた検証を行う。 【実施回数】年2回〔通学支援モデル事業1回、校外学習付添モデル事業1回〕 【委員】医師、看護師、事業所職員、関係学校長 等
	医療的ケア事業【非常勤看護師の配置 国庫補助活用】 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】82名 【その他】 ・国庫補助を活用している非常勤看護師。	医療的ケア事業【非常勤看護師の配置 国庫補助活用】 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】99名 【その他】 ・国庫補助を活用している非常勤看護師。
	常勤看護師の配置 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】16名 【その他】 ・肢体不自由特別支援学校7校と知肢併設校1校に、計16名を配置。	常勤看護師の配置 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】17名 【その他】 ・肢体不自由特別支援学校7校と知肢併設校1校に、計16名を配置。 ・令和6年度より主任看護師を配置するため、常勤看護師を1名増員。
	非常勤看護師の配置【教員定数活用】 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】15名 【その他】 ・教員定数を活用して配置している非常勤看護師。	非常勤看護師の配置【教員定数活用】 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】13名 【その他】 ・教員定数を活用して配置している非常勤看護師。